

無線LANビジネス推進連絡会の これまでの活動内容

連絡会の活動内容

- 無線LANの健全な普及・拡大に向けた啓発活動、情報発信
 - 「安心安全な公衆無線LAN提供のためのガイドライン」の提供(事業者向け)
 - 一般利用者向けリーフレットの作成・提供(会員限定)
 - Wi-Fiに関する諸問題への横断的情報提供(WPA2の脆弱性などに対する対応)
 - メールマガジンによる活動状況・情報の共有、発信(毎月15日発行)
 - 官公庁・外部団体との連携(公衆Wi-Fiの普及・促進)
- 災害時対応等、連携・協調が可能で有用な取り組み
 - 災害時公衆無線LAN無料開放統一SSID「00000JAPAN」の運営・普及活動
 - 各自治体防災訓練等への参加・出展協力
- 無線LANビジネスの更なる発展と拡大を目的とした会員間の情報交換並びに共有
 - 会員企業「製品・事例紹介カタログ」の提供
- 無線LANに関する新技術調査及び技術情報の発信
 - Wi-Fi関連の技術セミナー／勉強会の開催
 - 新たな方式に関する検討、規格化に向けた活動

「安心安全な公衆無線LAN提供のためのガイドライン」の提供 (事業者向け)



本ガイドラインは、
**公衆無線 LAN を提供する者が
意識しなければならない事や対策
についてまとめています**



<https://www.wlan-business.org/customer/introduction/area-owner>

Wi-Fiに関する諸問題への横断的情報提供

Wi-BiZ WPA/WPA2の脆弱性に関わるリスクについて(1) 別紙

今回の脆弱性が指摘されている事象は、暗号化にWPA/WPA2方式を利用した通信を行っている場合が対象となり、同一アクセスポイント (AP) のエリア内に悪意の第三者がいる場合、通信の内容を盗み見られる等のリスクがあるというもので、以下の構成や利用条件によって対応が異なります。

①通常のWi-Fi通信構成で、802.11r (高速ローミング) 機能を利用していない場合 (図1-1)
②通常のWi-Fi通信構成で、802.11r (高速ローミング) 機能を利用している場合 (図1-2)
③ブランチ構成 (APがMesh機能を利用) で、802.11r (高速ローミング) 機能を利用していない場合 (図2-1)
④ブランチ構成 (APがMesh機能を利用) で、802.11r (高速ローミング) 機能を利用している場合 (図2-2)

図1-1 <利用条件> ● WPA/WPA2を利用 ● 通常のWi-Fi通信構成 ● 802.11r機能を利用していない
<パブリック、企業、家庭>
端末毎に修正ソフトを適用する必要あり

図1-2 <利用条件> ● WPA/WPA2を利用 ● 通常のWi-Fi通信構成 ● 802.11r機能を利用している
<パブリック、企業、家庭>
端末毎に修正ソフトを適用する必要あり APに修正ソフトを適用する必要あり

悪意の第三者が同一エリア内からアクセスし覗き見できる

(例) WPA2の脆弱性
Wi-Fi暗号化における脆弱性が発覚した際に、利用者に向けてリスクの範囲や対応の可否を判りやすくHPで情報発信

<https://www.wlan-business.org/archives/11325>

Wi-Fiの適切な利用に向けたリーフレットの作成・提供 (一般利用者向け)



一般利用者向けに、安心安全なWi-Fi利用の為の情報を掲載したリーフレットです。

会員の皆様であれば、イベント時に配布、WEBサイトに掲載するなど、自由にご利用いただけます。
(会員限定)

メールマガジンによる活動状況・情報の共有、発信

イベント情報、技術情報に加えてビジネス情報や海外情報まで、幅広いWi-Fi関連の情報をタイムリーに配信

公式メールマガジン
Wi-BiZ 通信 毎月15日頃更新 好評配信中!

会員の皆様やご登録頂いた皆様に、無線LAN技術解説や、国内外の「最新Wi-Fi関連ニュース」、会員企業の事業や製品のご紹介等...情報満載でお届けします。

ビジネス情報

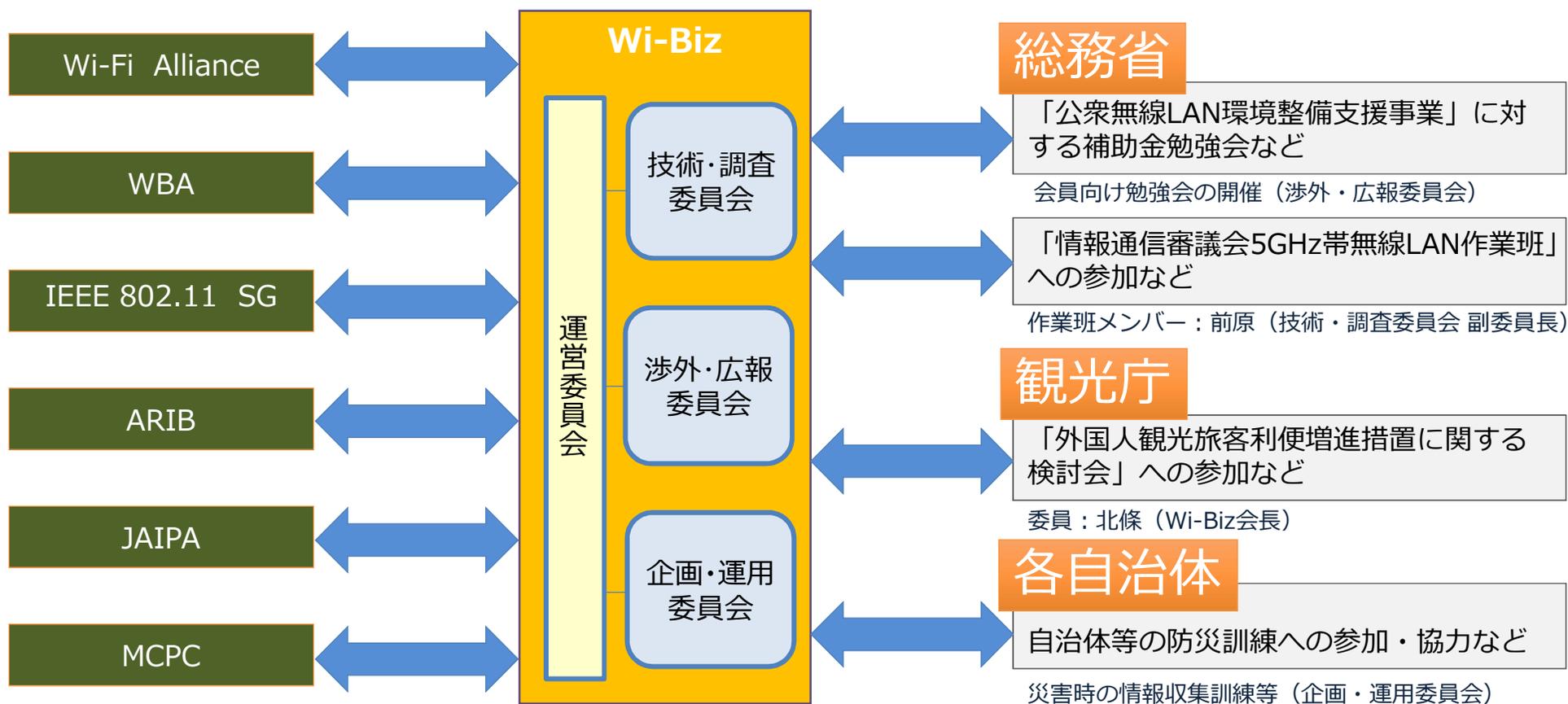
Wi-Biz活動報告

海外・技術情報

ご登録・バックナンバーはこちら <http://www.wlan-business.org/mailmagazine>

官公庁・外部団体との連携

無線LANに対する社会ニーズの高まりを受け、多彩な組織との連携が活発化



災害時公衆無線LAN無料開放統一SSID「00000JAPAN」の運営・普及活動

「00000JAPAN」とは・・・

大規模災害発生時に公衆無線LANを無料開放する取組みで、利用者が判り易い様にSSIDを「00000JAPAN」としています。

災害時のみ「00000JAPAN」のSSIDを開波します

※ 契約キャリアに依存せず、すべての人が公衆無線LANを使える環境を実現

▶ 発動実績(2018年度以降の主な実績)

- 2018/6 大阪北部地震
- 2018/7 北海道における大雨災害
- 2018/7 西日本豪雨
- 2018/9 台風21号
- 2018/9 北海道胆振東部地震
- 2018/9 台風10号

▶ 普及・啓蒙活動(2018年度以降の主な実績)

- ◆ 各自治体防災訓練等への参加・協力
 - 愛知県・津島市総合防災訓練(2018/8)
 - 宮城県仙台市帰宅困難者対応訓練(2018/8、2019/8)
 - 愛知県・豊橋市総合防災訓練(2019/09)
 - 東京ドーム防災訓練(2018/09、2019/10予定)

▶ ガイドラインの作成

事業者が事前に検討・準備する際の留意事項や、無料開放時の情報セキュリティ、端末が接続された時に最初に表示する画面等を規定したガイドラインを提供しています。



▶ 外部表彰受賞履歴

- ・ モバイルプロジェクト・アワード2015『MCF社会貢献賞』受賞
※: MCFモバイルプロジェクトAward審査委員会、モバイル・コンテンツ・F主催
- ・ 『平成30年 電波の日 総務大臣表彰』受彰
※: 情報通信月間推進協議会 主催



▶ 事業者の認定

「00000JAPAN」の健全な普及に向け、事業者がガイドラインが規定する仕組み・運用体制を有することを確認するための、登録申請確認及び認定を行っています。

認定事業者数(2019.9.1現在)

- ・通信キャリア : 7団体
- ・地方自治体等 : 17団体
- ・メーカー等 : 12団体

技術セミナー／勉強会の開催

▶ 技術セミナー(会員限定)

【技術・調査委員会】

- ・2017/3 「IoTに関する最新動向」
- ・2018/3 「Wi-Fiの新たなトレンド」
- ・2018/7 「2時間で分かる無線LANセキュリティ」
- ・2019/3 「Wi-Fi6 (802.11ax) による新たな幕開け」

▶ 総務省補助金事業勉強会(会員限定)

【渉外・広報委員会】

年に数回 総務省から講師により申請時の留意点等の説明

会員企業「製品・事例紹介カタログ」の提供

▶ 会員企業各社の製品・事例紹介

【技術・調査委員会】

電子カタログ化してWi-BizのHP掲載



<https://www.wlan-business.org/catalog/top.html>

新たな方式に関する検討、規格化に向けた活動

▶ 802.11ahの国内利用に向けた取組み

【802.11ah推進協議会】

IoTに最適な802.11ahの国内利用に向けた法整備の実現に向け、Wi-Biz有識者と外部推進グループ合同で検討会を開催し、総務省や各機関、主要サプライヤー等への働きかけを実施

▶ 802.11ax標準化動向調査

【技術・調査委員会】

技術調査委員会において、標準化の有識者を招き、技術内容や標準化動向に関する講演を実施

▶ 外部会合等の情報共有

【技術・調査委員会】

ARIB 5GHz帯無線LAN国際標準化対応作業班等、規格化検討の最新情報等を委員会内で共有

▶ 行政施策等へのパブリックコメント対応

Wi-Fi業界の利益代表として会員の声を集め、各種パブリックコメントへ対応しています。

- ・(例) 周波数再編アクションプラン(令和元年度改定版)(案) に対する意見の提出(2019/8/8)

メールマガジン(月刊)

● メールマガジンを定期配信

- 配信スケジュール
毎月15日に発行中
- 配信内容
 - ◆ Wi-Biz内イベント情報
 - ◆ 官公庁関連情報
 - ◆ ビジネス情報
 - ◆ 技術情報
 - ◆ 海外情報
 - ◆ 会員企業紹介
 - ◆ 会員製品紹介



閲覧・登録は以下のURLにアクセス
<http://www.wlan-business.org/mailmagazine>

無線LAN白書2018

● 書籍「無線LAN白書2018」の販売

- 無線LAN販売・導入・構築・運用に携わる企業の方必見！
- Wi-Bizによるメーカー、キャリアの枠を超えた無線LANビジネスの新しい展望を示した国内初の技術ビジネス書です。



Amazon購入ページへ

【定価】 2,400円(税抜き)

【出版社】 リックテレコム